

総合職試験(大卒程度試験)

【専門試験(多肢選択式)】(経済)

「経済」区分は、必須問題と選択問題に分かれています。全部で46題出題し、このうち40題解答します。必須問題については、31題の全てを解答してください。選択問題については、15題から9題解答してください。

○必須問題

経済理論16題、財政学・経済政策5題、経済事情5題、
統計学・計量経済学5題

○選択問題(15題から任意の9題選択)

経済史・経済事情3題、国際経済学3題、経営学3題、憲法3題、
民法(担保物権、親族及び相続を除く。)3題

* 解答する問題は、上記の科目をまたがって選択することができます。
例えば、経済史・経済事情から2題、国際経済学から3題、経営学から2題、憲法から2題の計9題とすることができます。

<受験者へのメッセージ>

経済学を専攻する方々の専門分野を重視した試験内容としています。



特定の専攻分野に偏らないようにそれぞれの専門から幅広く出題します。



大学の専門課程で学習する内容を中心に、大学で使う基本的な教科書や白書(経済財政白書等)を勉強するとよいでしょう。



我が国の予算や財政状況などについて、新聞の記事、テレビのニュースで取り上げられた内容を勉強するとよいでしょう。

